



渡邊医師と押富医師が KKT「メディテレ+」に 出演します

12月27日(金)、KKT「メディテレ+」に渡邊医師(泌尿器科部長)と押富医師(心臓血管外科部長)が出演します。手術支援ロボット「ダヴィンチ」を使った前立腺がん、弁膜症の手術について、地域の方々に情報をお届けします。

ON AIR
Info

kkt 医療と健康
メディテレ+ KKT「メディテレ+」
12/27(金) 10:25放送予定

前回の放送の
様子はこちらから



未来連携フォーラム

10.12 sat

@ホテル日航熊本5F阿蘇



未来連携フォーラムに
ご参加いただき
ありがとうございました!

10月12日(土)ホテル日航熊本にて、未来連携フォーラムを開催しました。講演会では「2040年を見据えた医療」について、当院の次世代を担う脳神経内科医・泌尿器科医・呼吸器内科医・循環器内科医・腫瘍内科医による発表とディスカッションを行いました。様々な診療科の視点を通して、「これからの医療」を考えるきっかけになれば幸いです。また、懇親会も大盛況のうちに終わることができました。

ご参加いただいた265名の皆様、ありがとうございました!

[サイクル]

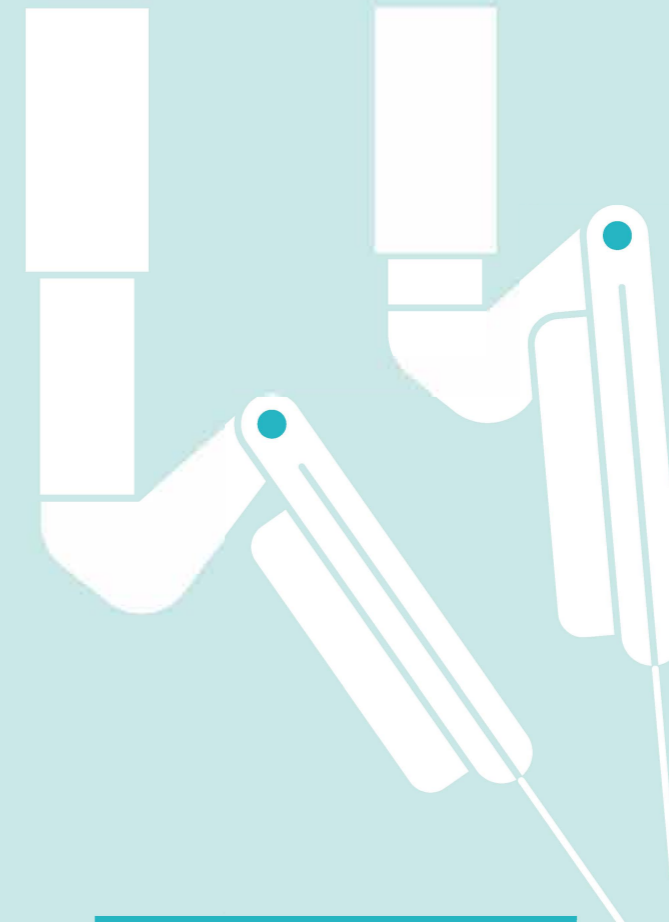
済生会熊本病院 連携広報誌

vol. 98

2024.December

saikuru

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。



WAITING

TIME

3台目のロボット導入

手術までの待機期間が短くなりました





TOPICS

3台目のロボット導入

手術までの待機期間が短くなりました

患者さんにとって負担の少ない手術を実現

手術支援ロボット「ダヴィンチ」は内視鏡手術支援ロボットです。小さな傷口で精密な手術を行うため、手術中の出血量が少ない、手術後の疼痛が軽減できる、合併症リスクを大幅に回避できるといった、患者さんにとって負担の少ない手術を実現できます。当院のダヴィンチを用いた手術の対象疾患は多岐にわたり、これまで3,500症例を超える手術を行っています。また、入院期間の短縮にも力を入れており、より患者さんの負担を軽減できるよう努めております。



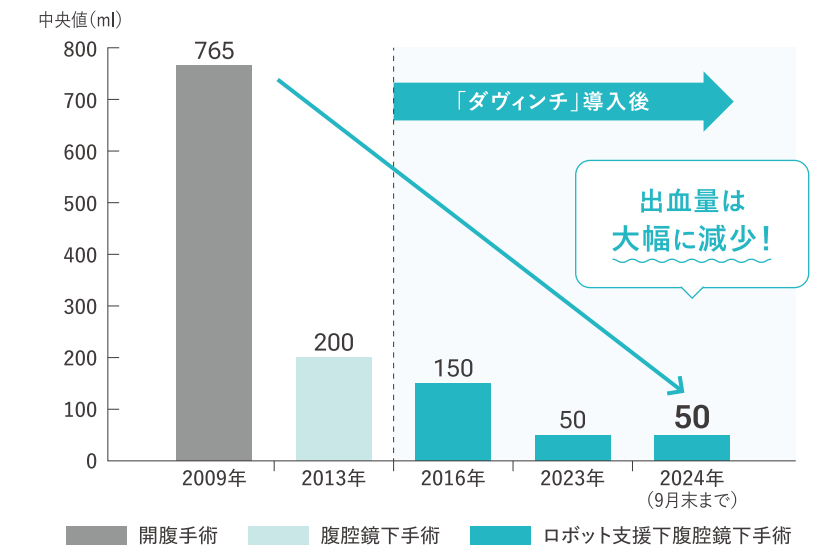
ロボット低侵襲手術センター長
渡邊 紳一郎

● 対象疾患・手術件数

前立腺がん	2,025件
腎がん	410件
肺がん	323件
胃がん	233件
心臓弁膜症	190件
大腸がん	171件
縦隔腫瘍	84件
膀胱がん	58件
腎盂(腎盂尿管移行部狭窄症)	8件

※2024年10月末まで

● 出血量の推移(前立腺がん手術の場合)



ロボット導入のメリット

ダヴィンチ3台目導入前

導入後

手術までの待機期間が短縮!

1 待機期間の短縮

ダヴィンチ3台目が導入されたことで、これまでの待機期間が大幅に短くなりました。例えば前立腺がんの手術までの待機期間はこれまで約4ヵ月でしたが、導入後2ヵ月程度まで短縮されています。患者さんをお待たせする期間の短縮に加えて、より多くの患者さんの受け入れを行える体制になっています。

2 安全性の向上

医師が手術操作を行う機器を2台有する「デュアルコンソール」体制を整えました。2名の医師が同時に同じ映像を見ながら手術を行うことができるため、より正確で迅速な安全性の高い手術を実現できます。



3 次世代医師の教育効果

デュアルコンソール体制で医師双方の動きが見えるため、互いにチェックしながら手術を進めることができます。これからの担う医師の教育面・指導面にも役立っています。

01

手術支援ロボット「ダヴィンチ」を3台以上導入している施設は、ダヴィンチを導入している全国約600施設の中で**14施設のみ**。九州は福岡大学病院と当院の**2施設のみ**です。

※2024年9月末時点

02

このたび皆様のご支援のおかげをもちまして、当院の**前立腺がんのロボット手術件数が全国1位(237件)**という大変光栄な結果をいただくことができました。深く感謝申し上げます。今後もこれに甘んじることなく、より一層質の高い医療の提供に尽力してまいりますので、引き続き変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願いいたします。

掲載記事

2024年11月20日(水) 読売新聞 朝刊
主な前立腺がんの治療実績 病院の実力



da Vinci Info